

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年09月25日

計画の名称	北川村南海トラフ地震等の広域災害に備えた誰もが安全安心に暮らせる地域づくりの推進（防災・安全）													
計画の期間	令和06年度 ～ 令和06年度（1年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	北川村													
計画の目標	今後発生が予想される南海トラフ地震による地殻変動が原因となって、甚大な被害が発生する可能性が高い盛土造成地において、変動予測調査（第二次スクリーニング）を実施する。 変動予測調査（第二次スクリーニング）の結果をもとに、該当地区住民へ情報提供を行うとともに、必要に応じて対策工事を計画していくことにより、災害に強い安全・安心な整備を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		12	A	12	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6		R6
1	第二次スクリーニング計画をもとに盛土の安全性把握調査を実施する。結果については、ホームページに公表し、安全性の公表率を100%にする。 大規模盛土造成地の安全性把握調査結果を公表し、安全性の公表率を0%から100%にする。 公表箇所数/安全性把握調査の対象となった大規模盛土造成地数	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	北川村	直接	北川村	－	－	大規模盛土造成地の安全 性把握調査（所林地区）	大規模盛土造成地の安全性把 握調査（地盤調査等 1箇所 ）	北川村	■					12		－	
												小計						12		
												合計						12		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
社会資本総合整備計画の事後評価として北川村で目標数値の達成状況等を実施	令和8年9月
	公表の方法
	北川村ホームページで公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	第二次スクリーニング（所林地区）結果をホームページで公表した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
国のガイドラインに基づき、経過観察を進めていく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	